

# いながわ

## 議会だより

第 **122** 号

平成19年(2007年)2月5日

発行：猪名川町議会  
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡  
猪名川町上野字北畑11-1  
TEL (072) 766-8710  
FAX (072) 766-8882



**17年度決算を認定 借入金返済がピークに**

2

**議案審議 “悠久の館” 4月オープン**

4

**委員会の活動報告 川西市と消防通信指令事務を共同運用**

6

**一般質問 8人が町の考えを聞く**

10

**こどもたちの声**

15

**編集後記**

16

ねえ～ねえ～  
おれ達も  
撮ってや～。

— 成人式 (イナホール) —

● 17年度 各会計別決算状況 ●

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	100億9425万3099円	96億1432万9552円	4億7992万3547円	
特別会計	国民健康保険	18億6707万5038円	18億4629万148円	2078万4890円
	介護保険	11億7452万7912円	11億6490万6661円	962万1251円
	老人保健	20億4412万2418円	20億3014万8495円	1397万3923円
	農業共済	4090万125円	2304万7703円	1785万2422円
	農林商工業振興資金	6110万7264円	6110万7264円	0円
	下水道事業	10億945万4967円	9億7290万4808円	3655万159円
	奨学金	1137万5912円	1071万8938円	65万6974円
合計	163億281万6735円	157億2345万3569円	5億7936万3166円	

平成17年度 決算を認定

過去の借入金 大型事業による返済がピークに

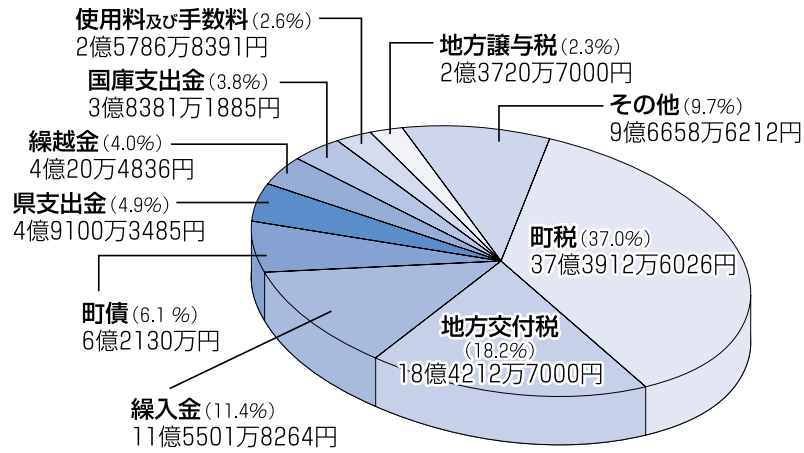
文化体育館・図書館・ゆうあいセンター等

17年度各会計（水道事業会計は除く）決算は、特別委員会にて3日間にわたり慎重に審査し、認定した。委員会での主な質疑は次のとおり。

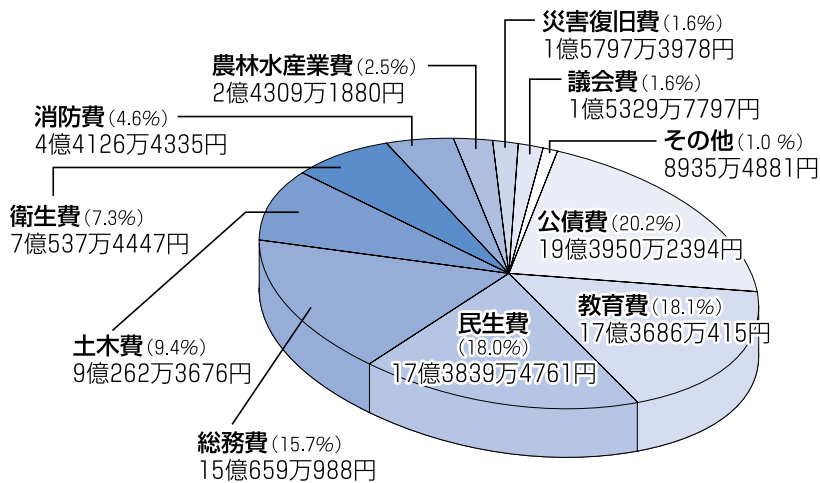
決算特別委員会

● 一般会計（歳入・歳出）の内訳 ●

◎ 歳入（入ってきたお金）



◎ 歳出（使ったお金）



— 財政 構造が悪化 —

**反対**

歳入減から基金を取り崩して、歴史街道整備を進めた。寝たきり老人防止への施策の充実、入札制度や町道認定のあり方に検討が求められている。

一般会計 討論

**賛成**

町税収入の鈍化や公債費の一括償還などによる、経常的経費の増加する厳しい状況の中、福祉のまちづくり、安全な教育環境を確保する義務教育施設整備事業が実施されている。（賛成多数で認定）

**歳入**

- 人口は増加し、町民税も4%の伸びとなっているが滞納への対策は。
- 町税3億円強、国保税1億5千万円の滞納がある。従前からの滞納への取り組みに加え、コンビニでの収納など納め易い環境づくりや税務専門職のOBによる収納対策など検討していきたい。
- 税滞納者への延滞金の取り扱い、また収納管理は。
- 延滞金は条例に基づき収納している。収納管理は本税、督促料、延滞金に分けて管理している。
- 滞納保育料の対応は。使用料負担は義務であり、催促や臨戸徴収を行い解消に努める。

**交流と産業の振興**

- 道の駅で販売できる商品の研究が必要では。
- 町の特産品づくりは必要と認識している。JA・いなほグループなどと協力して特産品を検討中。
- 起債のピークは16、17年度と見込んでおり、18年度決算で落着くと予想をしている。
- 入札落札率が高いが競争原理は働いているか。
- 500万円以上の入札執行で落札率が平均97.65%であるが、現在、工事請負審査委員会で入札のあり方の検討を始めたところであり、阪神間の状況等を見ながら進める。
- 人件費への今後の取り組みは。
- 18年度に給与構造改革で給料表等の改正をした。今後、団塊の世代の退職も考えられるので、バランスを見ながら新規採用を行っていききたい。

**生活環境の充実**

- 町内のアドプト数は。アドプト団体は5団体、花づくりグループが11団体。各団体からリーダー養成の相談もあり、町でサポートしていきたい。
- 教育・文化の振興
- 教育研究所の利用状況は。
- 研究開発、適応教室、教育相談を行っている。教育相談件数は年々増加し、17年度は548件である。

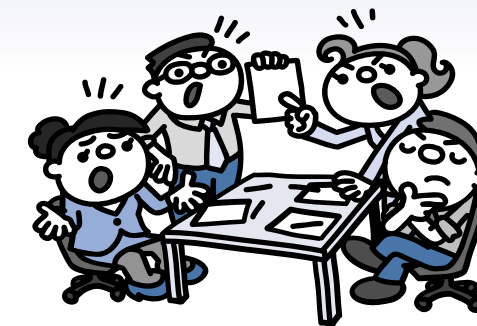
主な質疑

一般会計

福祉の向上

保育所の給食材料は新鮮な町内産品を利用しているか。

猪名川産を優先購入しているが、町内産野菜の利用を検討していく。



第333回

12月定例会

第333回定例会を、12月8日から20日まで開会し、17年度一般会計及び7特別会計の決算を認定した。また、人事案件1件、補正予算3件、条例制定4件、条例の一部改正9件、指定管理者の指定1件、その他4件など22議案を慎重審議の結果、いずれも原案どおり承認、可決した。



委員会への付託議案

本会議でこう決まりました

議案名	審議結果	付託委員会
一般会計歳入歳出決算	可決 (賛成多数)	一般会計決算特別委員会
特別会計歳入歳出決算 国民健康保険 介護保険 老人保健 農業共済 農林商工業振興資金 下水道事業 奨学金	可決 (全会一致)	特別・企業会計決算特別委員会
組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 副町長の定数を定める条例の制定 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 職員の給与に関する条例の一部改正 消防団員等公務災害補償条例の一部改正 川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の設置	可決 (全会一致)	総務企画常任委員会
火葬場条例の一部改正 農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部改正 猪名川上流広域ごみ処理施設組合理約の変更に関する協議	可決 (全会一致)	建設環境常任委員会
多田銀銅山悠久の館の設置及び管理に関する条例の制定 子育て学習センター条例の一部改正 社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 B & G海洋センター及び町営プールの指定管理者の指定	可決 (全会一致)	文教厚生常任委員会
町立幼稚園設置条例の一部改正 兵庫県後期高齢者医療広域連合の規約の制定の協議	可決 (賛成多数)	

(仮称) 銀山資料館の名称 決まる!!

“悠久の館” 4月オープン



多田銀銅山の重要な歴史文化遺産の保存・展示を行い郷土に対する認識を深めることを目的とし建設された。名称を広く町内外より公募し、39件の応募の中から選ばれた。

主な質疑

**国民健康保険**  
 ④ 予防施策の具体的な取り組みは。  
 ⑤ 医療費の抑制は、早期発見・早期治療が重要と考え、保健センターでの各種健康診断や人間ドックへの助成事業を行っている。

**特別会計**  
 ④ 保険税の不納欠損が多額となっているが、その原因と対策は。  
 ⑤ 破産、行方不明等によるものであり、対策として町税等収納向上対策会議の設置、管理職員20班体制による徴収活動など町全体として取り組んでいる。

**老人保健**  
 ④ 支出増が見込まれるが今後の取り組みは。  
 ⑤ 20年度から後期高齢者保険制度へ移行となる。保険を使わないですむ健康づくりへの取り組みが必要と考え。団塊の世代を対象とした、健康づくりリーダ

**農業共済**  
 ④ 町の農業施策に対する方針は。  
 ⑤ 営農活性化事業としてビニールハウスによる野菜作りや果樹栽培についても支援している。また、そばに対する共済制度の適用を要望している。

①の養成と老人クラブを対象に助成し、健康体操等を地域で推進していく取り組みを行う。

(その他、介護保険・農林商工業振興資金・下水道事業・奨学金特別会計についても全会一致で認定)



人事案件

自治功労者の推薦を承認  
 頭司祐生氏を承認。

条例改正

19年度から、  
 助役→副町長に名称が変わります!!  
 地方自治法の一部を改正する法律が施行されたため。

町長・助役の給与を5%カット!!

職員の不祥事に関して1ヵ月分の減給を行うことが決まった。  
 (期間) 19年1月1日から31日までの間。

B & G海洋センター・  
 町営プールの指定管理者を指定

(指定管理者となる団体)  
 エス・アンド・エヌ共同事業体  
 (指定期間)  
 19年4月1日から22年3月31日まで。



# 委員会の活動報告

## 総務企画

# 川西市と消防通信指令事務を共同運用

12月11日、委員会を開会。付託7議案を審査。

### 川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の設置

川西市、猪名川町の区域を越えて消防通信指令に関する事務を共同して管理し、増大する消防需要に対する広域的な対応と消防サービス的高度化を図るため消防通信指令事務協議会を設置するもの。

Q 施設構築経費の範囲は。また個人情報管理は。

A 構築費用は本町の通信機能を川西市に設置する費用。また、通報などの個人情報には従来どおりの扱いのため漏えいの心配はない。  
Q 受信から現場到着までの所要時間は変わるのか。

A 川西市にある発信地表示システムを利用する。受信の時点で場所を特定し出動できるので今までより早くなる。

Q 緊急通報システムの取り扱いは。

A 川西市と同様に警備会社に委託。通信システムは変わるが内容は今まで通り機能するよう継続する。

Q 町の費用負担は。

A 国勢調査の人口をもとに84対16で按分、経常経費は約800万円、町の通信機能を移す構築費用として約4600万円を予定。

(その他6議案についても全会一致で可決)



共同運用となる消防通信司令室

### あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、身近な問題等を議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただければ傍聴できます。

(本会議20名、委員会10名まで)

### 今後の議会日程（予定）

\*3月定例会

平成19年2月26日～3月28日  
議事の都合により変更することがあります。

日程については、ホームページでもご覧いただけます。

お問い合わせは  
議会事務局へ (☎766-8710)

## 火葬場の町外使用料金改定の根拠は



県道川西・篠山線北野バイパス工事現場を視察



猪名川霊照苑（火葬場）

10月11日、委員会を開会。  
町道整備計画を審査  
県道川西・篠山線北野バイパス、町道木間生・旭ヶ丘線、清水・仁頂寺線を現地視察。  
12月12日、委員会を開会。付託3議案を審査。  
**火葬場条例の一部改正**  
17年度決算では一体当り約3万9千円の経費がかかっている。町外利用者が増えているのに比例し、町の負担も増える。使用料改定の根拠は。

**A** 料金設定は、修繕費をどう見るかがポイントになる。15・16年度には大きな修繕をしており、16年度では一体当りの経費が5万3千円となる。17年度では3万9千円となった。もう少し高い金額も検討したが、3万6千円の料金設定とした。  
**Q** 使用料を5割増にしたことが、支払う立場からすれば、かなりの増額ではないか。徐々に金額を上げることはできなかったのか。

**A** 過去3年間では、一体当り平均約5万円の負担になるが、町外の施設を利用する場合もあることから、5万円の負担を求めるのはどうかと思う。  
(その他2議案についても全会一致で可決)

### 議長交際費の閲覧

閲覧内容は、支払日、支払目的、金額などで、相手先については原則公開ですが個人情報を含む場合は非公開となります。

4月分以降を3ヵ月毎にまとめ、最終月の翌月末に閲覧できます。

閲覧を希望される方は、議会事務局で閲覧受付簿に必要事項を記入していただければ閲覧できます。

### 会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、役場議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬連絡所で閲覧できます。

また、ホームページからも本会議、予算・決算特別委員会の会議録をご覧になれます。

# 幼稚園通園バス使用料徴収へ

## 文教厚生

11月24日、委員会を開会。  
**小学校整備計画等を審査**

増改築する小学校（大島・楊津・白金・つつじが丘）、銀山資料館（悠久の館）及び社会福祉法人ユウカリ福祉会猪名川園を現地視察。



小学校の建築工事現場を視察

12月13日、委員会を開会。  
 付託6議案を審査。

**正** 幼稚園設置条例の一部改

**Q** 1.5キロメートル以内は徒歩通園となるが、通園路等の整備はできるか。また、送迎時の個別事情の対応は。

**A** 県道川西・篠山線の整備については、県に対し引き続き歩道整備等要請する。また、親の病气、けが等により送迎できない特別な理由がある場合は、措置をしていきたい。

**Q** 通園バス使用料を徴収すれば、営業車としての登録の必要はないか。

**A** 近畿陸運局に照会済であり、兵庫陸運局への届出により白ナンバーで運行できる。

（賛成多数で可決）

兵庫県後期高齢者医療広域連合の規約の制定の協議

**Q** 議員定数が41人と規定されているが妥当か。議員の選出方法、被保険者の意見は反映されるのか。

**A** 県下41市町で各自自治体より1名の選出であり、本

町としては、町長、副町長でと考えている。広域連合は地方公共団体の一つであり、議会が組織されるので意見が反映されると考える。

（賛成多数で可決）  
 その他4議案については、いずれも全会一致で可決



通園バスに乗車する園児たち

# 先進地 視察レポート

## ITで「人にやさしい町づくり」

### 総務企画



11月14日 福岡県岡垣町

「人にやさしい情報化の町」をめざして、地域情報化の推進や高度情報化社会に対応する人づくりや中心市街地活性化の情報交流拠点施設として、「岡垣町情報プラザ人の駅」を16年3月建設。

情報プラザを核とした光ファイバー網による町内地域インターネットを構築し、情報プラザと各公共施設、学校間での高速・大量の情報交換を可能にし、行政窓口機能の向上、学校教育、

生涯学習、中心市街地などの産業の活性化、交流・ふれあい・賑わいの創出、地域情報化の推進及びITの普及促進などそれぞれの支援、地域インターネットを活用した住民サービスの向上を図るなど情報化時代にふさわしい先進的な取り組みを視察。

11月15日 福岡県宗像市

「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」への取り組みを研修。

## 大合併による観光施策

### 建設環境

11月21日 岐阜県中津川市

中津川市は大合併が行われ、観光協会連絡協議会では、中山道を中心とした馬籠宿等、歴史のあるまちを大切に、他の地域の特徴も紹介しながら取り組んでいる。

馬籠の知名度を生かし、新市の名物づくりと魅力を高め、地域のまちづくりを進めている。

ふれあい里山づくり推進

11月22日 長野県茅野市

里山づくりに取り組みたいと考えている人たちからの申請を受け、ふさわしい活動が行われると期待される地域を里山づくり推進地域に指定し、地域の自発的な活動がスムーズに進むように支援をしている。

「ふれあい里山づくり条例」に基づき、1団体に對して100万円の補助を出し活性化を図っている。



## 子育て支援事業の一本化

### 文教厚生

10月30日 静岡県長泉町

子どもをいかに健全に育てるかに重点を置き、保育園、児童手当、乳幼児医療費等の業務を、教育委員会内の「こども育成課」が担当し、出生から中学校卒業までに関する業務を一本化。子どもの健全育成に対し、合理化を図り、住民から見てもわかりやすい体制としている。

社会教育は生涯学習の一部

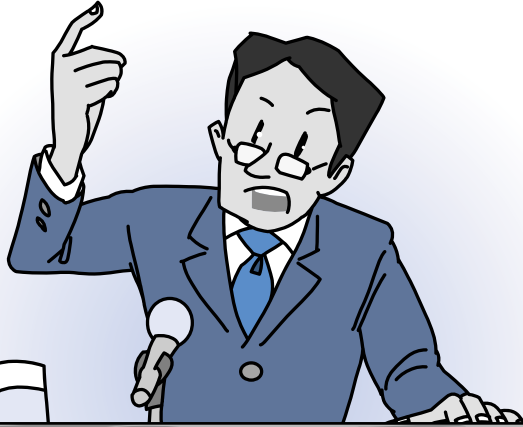
10月31日 静岡県掛川市

掛川市では昭和54年に日本ですべて生涯学習都市宣言を行い、生涯学習のまちづくりをスタート。カルチャータンクの講座は基本的に市では開設せず、まちづくり活動につながる事業やその担い手を育成する事業に集中投資し、一人ひとりの生涯学習活動で自己を高めた市民が、このまちで活躍し、さらにまちを良くする担い手・主体として社会参画してもらえようという、しかりや事業を実施。



# 一般質問

# こどもが聞きたる



## 8人が町の考えを問う

定例会第2日（12月15日）に8人の議員が町政全般にわたって質問しました。

質問（Q）と答弁（A）の要旨を掲載しています。質問項目は下記のとおりです。

### 中島孝雄 議員

- ・入札のあり方と落札率を問う

### 尾川悦子 議員

- ・「地域情報化計画」の推進状況と今後について問う

### 山崎福市 議員

- ・いじめを許さない学校づくりを

### 下坊辰雄 議員

- ・危機管理について
- ・大野山の天文台について

### 新賀 保 議員

- ・“孤独死”防止策の強化が急務
- ・広告ビジネスによる財源確保への取り組みは進んでいるのか

### 時崎 巖 議員

- ・地域医療について
- ・保育所の強化と学校の関係について
- ・組織機構の見直しについて

### 南 初男 議員

- ・幹線道路の整備の展望は

### 福井澄榮 議員

- ・役場増築より福祉・医療を最優先させるべき
- ・住民基本台帳ネットワークシステムは個人情報が見え見え
- ・飲酒運転に対する町の対応は





中島 孝雄議員

## Q 競争入札のあり方と落札率を問う

### A より競争原理の働く制度を検討する



問題化する入札制度

**問** 17年度における競争入札の平均落札率は97・65%と公表され、非常に高い数値であることが明らかになった。率が高いことは住民の負担となり納税者の損失であるが、町は競争入札の目的のひとつである安く発注しようとする姿勢に欠けていないか。

高止まりしている落札率の原因と今後の入札制度のあり方を問う。

**総務部長** 率の高い要因のひとつに算出方法の違いがあげられるが、今後はより

公平・公正を確保し、予定価格と最低価格の事前公表や、一般制限付競争入札の対象金額の引き下げなども考えていく。また、電子入札の導入も検討課題として

**問** 競争入札が二度不調に終わると不落随契での落札が多数になっているが、再入札をすべきでは。

**助役** 本来は日程と業者を変えて再入札をするべきであるが、時間的な余裕が無い場合が多い。今後は努めて再入札としたい。

#### ひとくちメモ

##### 「不落随契」

複数回数の競争入札において落札者が決定しなかった場合に、最低価格での入札者との間で随意契約を行うこと。



個人情報漏えいに万全の対策を



尾川 悦子議員

## Q 地域情報ネットワークへの取り組みは

### A 地上デジタルの移行とあわせて検討中

**問** 地域情報化計画の最終年だが、公共施設間ネットワーク整備の取り組みは。

**企画部長** 町内すべてをネットワークすることの必要性は十分感じており、実現に向けた方向性について検討している。現在、全国的

な問題となっている2011年7月の地上デジタルテレビ放送への完全移行に向けた対策の必要があるため、これと併せて町内全域光ファイバーの敷設について検討中である。具体的な方向性が固まった時点で報告したいと考えている。

**問** 情報セキュリティ対策と個人情報保護などにおける環境整備は。

**企画部長** 個人情報保護条例、地域情報化計画などに基づき、ハード・ソフト両面の対策を講じている。さらに『情報漏えいの最も多い事例は、人的なものである』とも言われており「人的な対策」これが最も重要と考えている。今後、さらなる職員のモラル向上をめざし、職階別にそれぞれの立場における事例等を交えた研修を実施していく。



山崎 福市議員

Q いじめを許さない学校づくりを

A いじめ防止教育に全力で取り組む

**問** 学校でのいじめの発見は、主に保護者、児童生徒の訴え、学級担任の確認等である。いじめ防止の重点的な取り組みは。  
**教育長** どのような社会であつても「いじめは許されない。いじめる側が絶対悪い」という態度で取り組んでいる。いじめはどの子どもにも、どの学校・園にも起こり得るといふ共通認識を持ち、対応マニュアル等を活用して、いじめ防止教育に全力で取り組む。

**問** 町立小中学校・園における、いじめ問題の発生状況の把握と対策を。  
**教育長** いじめの実態は一方的に心身とも相手が苦痛を感じる行為であり、17年度では小学校1件、中学校2件、18年度は11月現在で小学校2件、中学校5件に急増。対策としていじめを含んだ生徒指導上の問題、児童虐待など学校・家庭・地域と行政が連携して解決をめざすことから、教委・教職員・PTA連合会・町職員・民生児童委員・県教委・警察等の構成により問題行動の当該学校をサポートしている。



部活動に励んでいる生徒たち



職員研修の様子



下坊 辰雄議員

Q 相次ぐ不祥事の町民への信頼回復は  
 A 職員の倫理意識の向上に取り組む

**問** 全国的に相次ぐ不祥事が起きており、町でも飲酒運転・幹部による指定業者の借り入れが発覚している。このような不祥事の根源を絶つための政策・職員の研

修の強化をすべきと考える。一日も早い信頼回復は。  
**総務部長** 住民に信頼される行政を確立し、職員一人ひとりが倫理観を喚起していくことが重要。職員研修・管理監督等あらゆる機会を通じて職員の倫理意識の向上に取り組む。  
**問** 町と指名業者との関係は、あくまでも中立の立場では。  
**総務部長** 民間業者との関係は中立的な立場であることが必要であり、不適正な行動を行わないよう、周知徹底するよう指導をする。  
**問** 大野山の天文台の休館日に、なぜ民間業者のために、町職員2名を配置させたのか。  
**企画部長** 「観光ボランティアガイド」を来年本格稼働するため「ガイドの研修」として位置づけ実施した。

# Q 高齢者の孤独死防止策が急務だが

## A 公的にどこまで取り組めるか検討する



新賀 保議員

**問** 独居高齢者の「孤独死」を予防する見守り施策として、全国的に注目され、導入や検証が始まっているのが、水道の自動検針システムを活用した「みまもりサービス」である。ひとりぐらしの高齢者が生活の中で

### 検針時に「お元気」 独居高齢者に声掛け

【水戸市】水戸市水道局は、高齢者の生活状況を把握し、孤独死の予防に努める。水道検針時に「お元気ですか」と声をかけ、生活状況を確認する。また、検針時に「お元気ですか」と声をかけ、生活状況を確認する。また、検針時に「お元気ですか」と声をかけ、生活状況を確認する。

### 見守り拡充 全庁横断組織

**孤独死」を防げ 都内自治体本腰**  
 本年に入り、東京都内では、孤独死の発生が相次いでいる。東京都は、高齢者の見守り体制を強化し、孤独死の予防に努める。また、都内自治体は、孤独死の予防に本腰を据え、見守り体制を強化している。

地域ぐるみで孤独死防止

使用した水道の使用量を、離れて暮らす家族に「安全確認の情報」としてITを駆使して提供するものである。生活状況が把握しやすく、異状を察知する精度が高い」として期待されている。安全と安心の町づくりをさらに進めるためにも、導入に向け調査・研究としては。

**住民生活部長** 先進的な安否確認システムであり、今後に向け検討すべきことであると思うが、公的にどこまでできるか考えてみる。

**企画部長** 具体的内容精査に入っている。町広報紙の広告収入とホームページのバナー広告の有料化に向けて進めている。町としても、たくさんの方の広告媒体を保有しており今後の課題として多方面からさらに研究を続けていく。

# Q 制度改革に伴う地域医療体制の整備は

## A 国・県の計画に基づき、阪神北圏域で



時崎 巖議員

### 健保法等改正案が成立 23年ぶりの大改革に

後期高齢者医療制度の創設や市町村間の広域化に向けた取り組みを促進する。健保法等改正案は、23年ぶりの大改革に。後期高齢者医療制度の創設や市町村間の広域化に向けた取り組みを促進する。健保法等改正案は、23年ぶりの大改革に。

新制度へ移行するが……

**問** 地方自治体が財政的に危機的状態になると、結果において、子ども・老人・病人等弱者にしわ寄せがくる。4月に発表された診療報酬の改定は、地域医療の現場で働く看護師を減少させ、一方、6月に発表された医療制度改革は、医療費の抑制を狙い、在宅医療の推進が計画されている。

**住民生活部長** 制度改革のこともあり、住民、患者の視点から現状の診療、医療施設を見直す必要があるが何分、大きなうねりであるため、近隣市町及び医師会等とも相談をしながら、阪神北圏域で考えていきたい。

**企画部長** 直接住民の意見は聞いていないが、庁内ワーキンググループでの協議・検討でまとめた。



南 初男議員

### Q 町内の幹線道路の整備の展望は

#### A あらゆる機会を捉え県に要望する

**問** 住み続けたい、町づくりをめざしていくには、幹線道路の整備だと思ふ。町道原・広根線と、上野5号線、第二名神の展望は。

**建設部長** 原・広根線の西側は、第二名神の計画や、町内の交通状況を見ながら整備時期を判断していく。上野5号線は、第二名神の完成までに供用できるように取り組んでいく。

**問** 県道能勢・猪名川線の紫合地内のカーブ等の改良と県道川西・篠山線の「道の駅」を中心とした、篠山方面・川西方面の整備は。



急カーブが続く県道能勢・猪名川線

**建設部長** 指摘の紫合地内のカーブについては、次の改良箇所として地域と連携し、県に要望、協議する。県道川西・篠山線「道の駅」を中心とした南北の整備は、現在北野バイパスが19年度末に完成で取り組んでいる。町として次の工区は、屏風岩工区との認識で県に要望。川西・篠山線を国道への昇格は町の発展を考えると、必要な取り組みと考えているが、173・176号線がある中でハードルが高いと認識する。



福井 澄栄議員

### Q 水道庁舎より医療・福祉を最優先せよ

#### A 実態に合わせて取り組む



水道庁舎建設地

**問** 現在借金、水道基金合わせて10億円以上で役場増築（水道庁舎）を計画している。議員の会派室をつくるための現庁舎の改修工事、議員への新規パソコン貸与等も中止し、遅れている医療・福祉を最優先するべき。

**上下水道部長** 機械はすでに発注済みであり、一極集中により諸経費も削減できる。水道企業会計は、医療・福祉会計とは別である。

**住民生活部長** 福祉が特に充実していないとは思われないが、実態に合わせて取り組む。

**問** 住基ネットは個人情報漏れ漏れ。

**住民生活部長** 離脱、各地で住民訴訟が起きているが、プライバシー権を侵害することにはならない。

**問** 飲酒運転への町の対応は。兵庫県知事が飲酒運転に対して寛大な発言をしたが職員も議員も厳しい処分をするべき。

**総務部長** 全庁あげて処分基準の厳罰化に向け、現在見直し中である。

## 議会広報研究会に参加

10月27日に県町議会議長会主催の「議会広報研究会」が開催されました。

広報コンサルタントの深沢徹氏から読んでもらえる広報紙、わかりやすい紙面づくりのテクニック等具体的な指導を受けました。



## 全議員研究会に参加



11月17日、市川町文化センター「ひまわりホール」で県町議会議長会主催の全議員研究会が開催されました。

田中危機管理広報事務所長、日本医師会広報戦略会議委員の田中正博氏から「自治体の危機管理」をテーマに、議員としての必須心得について講義を受けました。



### 親子ドッジボール大会

つつじが丘小学校1年 金岡 茉莉<sup>まり</sup>

きょうの二じかん目、おや子ドッジボールをしたよ。D  
チームがまけてくやしいのに、またまけたよ。

さいごに、ジュースがもらえてうれしかったよ。それに、  
ドッジボールをして、おかあさんに

「おい。こののがうまいね。それだったら、いそいで、  
とっさんとできるー」

て、いわれたからすぐうれしかったよ。

### 里山にのぼりました

楊津小学校3年 田中 政輝

きのう、里山に凵工のざいりょうをさがしにいきました。  
た。里山では、いのししがほったあな、えたやくさった  
木などがたくさんありました。そして、もう少しおくに  
いってまたもどってきました。学校の空気と山の空気は、  
ぜんぜんちがいました。とても、楽しかったです。

「特別賞」



議会広報特別委員会のメンバー



兵庫県町議会議長会広報紙コンクールにおいて、「いながわ議会だより（第119号）」が特別賞（兵庫ジャーナル賞）を受賞しました。これからも、わかりやすく、親しみやすい広報紙づくりに一層の努力をまいりますので、ご愛読をよろしくお願いたします。

編集後記

私たち議会広報特別委員会のメンバーも2年目に入りました。昨年は兵庫県広報紙コンクールで特別賞を受賞しましたが、この1年間は議会だよりを編集するたびに、どうすれば、より大勢の皆

さんに読んでいただけるのかを全員で考え取り組んできました。今年もこれまでに学んだことや受賞をバネに、ひとりでも多くの人々が議会に関心を持ってもらえるように編集に励みたいと思います。



— つつじが丘 初日の出 —



猪名川町議会

議長 福本典子

副議長 福井昌司

議員

- 池上哲男
- 尾川悦男
- 切通明正
- 小坂正雄
- 下坊辰雄
- 新賀辰保
- 関口功男
- 時崎孝巖
- 中島孝雄
- 西谷八郎治
- 福井澄榮
- 福田長治
- 道上善崇
- 南上初男
- 山口昌福
- 山崎福市

(50音順)